



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月13日

上場取引所 札

上場会社名 中道リース株式会社

コード番号 8594 URL <http://www.nakamichi-leasing.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関 寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営主計室長

(氏名) 遠藤 龍二

TEL 011-280-2266

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年12月期第3四半期の業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	25,303	3.0	376	△29.6	384	△29.3	175	△42.8
26年12月期第3四半期	24,577	5.2	535	24.8	542	20.4	305	19.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	23.43	15.56
26年12月期第3四半期	41.17	22.47

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	102,619	6,943	6.8
26年12月期	102,565	6,920	6.7

(参考)自己資本 27年12月期第3四半期 6,943百万円 26年12月期 6,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	5.50	5.50
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記の「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「4. 種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成27年12月期の業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	2.0	370	△39.7	380	△38.4	200	△40.7	23.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	8,679,800 株	26年12月期	8,679,800 株
27年12月期3Q	1,225,527 株	26年12月期	1,224,415 株
27年12月期3Q	7,454,619 株	26年12月期3Q	7,414,434 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	30.00	30.00
27年12月期	—	—	—		
27年12月期(予想)				30.00	30.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 契約実行高	9
(2) 営業資産残高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、円安による物価上昇などで個人消費は回復までには至っておらず、また中国をはじめとする海外経済の下振れリスクが残り、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は、営業部門におきましては、医療関連営業部東北営業課（仙台市）の新設等、組織体制を一部変更し、積極的に営業活動を展開してまいりました。その結果、当第3四半期累計期間における新規受注高は24,647百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

損益面では、当第3四半期累計期間の売上高は25,303百万円（同3.0%増）、営業利益は376百万円（同29.6%減）、経常利益は384百万円（同29.3%減）、四半期純利益は税制改正に伴う繰延税金資産の取崩等により、175百万円（同42.8%減）となりました。

（セグメントの業績）

当第3四半期累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントにおける売上高については「外部顧客に対する売上高」の金額、セグメント利益については報告セグメントの金額を記載しております。

〔リース・割賦・営業貸付〕

リース・割賦・営業貸付の新規受注高は24,165百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業資産残高は73,943百万円（前期末比4.8%増）となりました。また、売上高は22,952百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は140百万円（同52.6%減）となりました。

〔不動産賃貸〕

不動産賃貸の新規受注高は226百万円（前年同四半期比85.0%減）、営業資産残高は13,556百万円（前期末比1.1%減）となりました。また、売上高は2,270百万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益は615百万円（同5.5%増）となりました。

〔その他〕

その他の新規受注高は256百万円（前年同四半期比594.6%増）、営業資産残高は150百万円（前期末比78.0%減）となりました。また、売上高は81百万円（前年同四半期比10.5%減）、セグメント利益は10百万円（同42.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前期末比54百万円増加し102,619百万円となりました。これは主にリース投資資産の増加によるものです。

負債合計は、前期末比31百万円増加し95,676百万円となりました。これは主に社債の増加によるものです。

純資産合計は、前期末比23百万円増加し6,943百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の通期の業績予想につきましては、平成27年2月13日に公表いたしました数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)を第1四半期会計期間より適用しております。当該会計方針の変更の適用は、当該実務上の取扱い第20項に定める経過措置に従って、適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理については、本実務対応報告の方法によらず、従来採用していた方法を継続しております。このため、当該会計方針の変更による影響はありません。

(3) 追加情報

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、従業員に対する福利厚生サービスを目的として、受給権を付与された従業員に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

① 取引の概要

予め当社が定めた株式給付規程に基づき、当社の従業員が退職した場合に当該退職者に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に勤続や成果に応じてポイントを付与し、従業員の退職時に累積したポイントに相当する当社株式を給付します。なお退職者に対し給付する株式については、あらかじめ信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理しております。

② 「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)を適用しておりますが、従来採用していた方法により会計処理を行っております。

③ 信託が保有する自社の株式に関する事項

信託における帳簿価額は、前事業年度103,159千円、当第3四半期会計期間103,159千円であります。信託が保有する自社の株式は、株主資本において自己株式として計上しております。

期末株式数は、前第3四半期会計期間928,000株、当第3四半期会計期間928,000株であり、期中平均株式数は、前第3四半期累計期間928,000株、当第3四半期累計期間928,000株であります。期末株式数及び期中平均株式数は、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。

(税効果会計に使用する法定実効税率の変更)

平成27年3月31日に「所得税法等の一部を改正する法律」及び「地方税法等の一部を改正する法律」が公布され、平成27年4月1日以後開始する事業年度より、法人税率等が変更されることになりました。これに伴い、平成28年1月1日以後開始する事業年度において解消が見込まれる一時差異等について、その繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率は、平成28年1月1日から平成28年12月31日までは35.33%から32.78%へ、平成29年1月1日以降は35.33%から32.01%へ変更されます。

この法定実効税率に基づき、当第3四半期会計期間末の繰延税金資産及び繰延税金負債を計算すると、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が39,008千円減少、その他有価証券評価差額金が10,650千円増加、当第3四半期累計期間の法人税等調整額が49,658千円増加することになります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,432,173	7,772,251
受取手形	802	167
割賦債権	22,751,615	21,899,111
リース債権及びリース投資資産	47,123,326	50,677,308
営業貸付金	856,216	729,309
その他の営業貸付債権	1,399,394	1,709,098
賃貸料等未収入金	1,753,353	1,927,381
その他の流動資産	797,949	771,832
貸倒引当金	△151,019	△133,539
流動資産合計	84,963,809	85,352,919
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	14,018,285	13,724,068
社用資産	90,832	87,566
有形固定資産合計	14,109,116	13,811,635
無形固定資産	88,748	57,118
投資その他の資産		
その他の投資	3,374,159	3,359,485
貸倒引当金	△96,072	△97,044
投資その他の資産合計	3,278,087	3,262,441
固定資産合計	17,475,952	17,131,193
繰延資産	125,041	134,601
資産合計	102,564,802	102,618,714
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,377,102	559,125
買掛金	3,035,015	3,404,730
短期借入金	2,870,000	2,370,000
1年内返済予定の長期借入金	23,985,711	24,563,652
1年内償還予定の社債	1,750,000	2,169,000
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期 支払債務	6,000	-
未払法人税等	248,339	65,913
割賦未実現利益	1,185,089	1,095,635
役員賞与引当金	22,000	-
賞与引当金	43,798	78,976
その他の流動負債	1,036,932	1,066,738
流動負債合計	35,559,986	35,373,769

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
固定負債		
社債	6,474,000	7,245,000
長期借入金	43,707,282	42,615,380
債権流動化に伴う長期支払債務	1,902,256	2,360,832
退職給付引当金	38,923	45,932
受取保証金	6,074,571	6,049,563
資産除去債務	464,549	493,545
その他の固定負債	1,423,142	1,491,716
固定負債合計	60,084,724	60,301,969
負債合計	95,644,709	95,675,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,297,430	2,297,430
資本剰余金	2,137,430	2,137,430
利益剰余金	2,382,734	2,398,791
自己株式	△197,402	△197,693
株主資本合計	6,620,193	6,635,958
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	299,900	307,018
評価・換算差額等合計	299,900	307,018
純資産合計	6,920,092	6,942,976
負債純資産合計	102,564,802	102,618,714

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	24,577,242	25,303,486
売上原価	22,643,308	23,471,185
売上総利益	1,933,933	1,832,301
販売費及び一般管理費	1,399,114	1,455,939
営業利益	534,819	376,363
営業外収益		
受取利息	216	276
受取配当金	18,043	17,484
償却債権取立益	4,835	3,230
その他の営業外収益	563	655
営業外収益合計	23,656	21,646
営業外費用		
支払利息	13,347	12,069
支払手数料	2,137	2,142
その他の営業外費用	811	210
営業外費用合計	16,295	14,420
経常利益	542,181	383,588
特別利益		
固定資産売却益	-	17,432
投資有価証券売却益	29,401	-
特別利益合計	29,401	17,432
特別損失		
固定資産売却損	-	10,263
減損損失	36,062	-
特別損失合計	36,062	10,263
税引前四半期純利益	535,520	390,757
法人税、住民税及び事業税	355,336	238,049
法人税等調整額	△125,056	△21,955
法人税等合計	230,280	216,095
四半期純利益	305,240	174,662

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦・ 営業貸付	不動産賃貸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,337,893	2,148,934	24,486,827	90,415	24,577,242
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,337,893	2,148,934	24,486,827	90,415	24,577,242
セグメント利益	294,676	582,947	877,622	17,393	895,015

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディカルサポート事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	877,622
「その他」の区分の利益	17,393
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△360,196
四半期損益計算書の営業利益	534,819

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において36,062千円であります。

Ⅱ 当第3四半期累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦・ 営業貸付	不動産賃貸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,952,464	2,270,111	25,222,575	80,911	25,303,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,952,464	2,270,111	25,222,575	80,911	25,303,486
セグメント利益	139,578	615,272	754,849	10,020	764,869

（注） 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディカルサポート事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	754,849
「その他」の区分の利益	10,020
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△388,507
四半期損益計算書の営業利益	376,363

（注） 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 契約実行高

セグメントの名称		当第3四半期累計期間	
		金額(千円)	前年同四半期比(%)
リース・割賦・ 営業貸付事業	ファイナンス・リース	15,885,189	111.2
	オペレーティング・リース	—	—
	割賦販売事業	6,656,828	65.5
	営業貸付事業	769,211	93.8
	リース・割賦・営業貸付事業計	23,311,228	92.3
不動産賃貸事業		370,678	74.9
その他		4,019	9.5
合計		23,685,925	91.8

(注) ファイナンス・リース及び不動産賃貸事業については取得した資産の購入金額、割賦販売事業については実行時の割賦債権から割賦未実現利益を控除した額、オペレーティング・リースについては賃貸物件の取得価額を表示しております。なお、再リース取引の実行額は含んでおりません。

(2) 営業資産残高

セグメントの名称		前事業年度末 (平成26年12月末日)		当第3四半期会計期間末 (平成27年12月期第3四半期)	
		期末残高(千円)	構成比(%)	期末残高(千円)	構成比(%)
リース・割賦・ 営業貸付事業	ファイナンス・リース	46,966,889	55.3	50,566,417	57.7
	オペレーティング・リース	181,064	0.2	174,424	0.2
	割賦販売事業	21,560,577	25.4	20,798,898	23.7
	営業貸付事業	1,872,387	2.2	2,403,398	2.7
	リース・割賦・営業貸付事業計	70,580,919	83.1	73,943,138	84.4
不動産賃貸事業		13,707,214	16.1	13,555,562	15.5
その他		683,167	0.8	150,478	0.2
合計		84,971,299	100.0	87,649,178	100.0

(注) 1 リース・割賦・営業貸付事業のうち、ファイナンス・リースについてはリース債権及びリース投資資産残高を、オペレーティング・リースについては賃貸物品の帳簿価額を表示しております。

2 割賦販売事業については割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。